

市町村の動き



三島地域

■高槻市は、「『芥川・ひとと魚にやさしい川づくり』ネットワーク」(愛称：芥川倶楽部)を発足した。

これは、淀川に数万匹溯上しているといわれている「アユ」を活動のシンボルフィッシュとし、淀川の支流である芥川への溯上を実現するため、市民等が主体となって発足したもの。

今後、魚みちづくりや生物観察会などのソフト事業の展開や、芥川創生に向けた構想づくり等を進める。(7月7日)

■茨木市は、子育て支援総合センターを開設した。

これは、乳幼児の健やかな育成を図ることを目的に開設したもの。

同センターでは、子育てに関する情報提供のほか、乳幼児と親が気軽に集える「ほっほルーム」の開放や、子育てに関する相談、カウンセリングやセラピーを行う。

今後、絵本の読み聞かせや、ふれあい遊び等のイベントなども開催していく。(8月1日)



豊能地域

■豊中市は、「美しいまちづくりの推進に関する条例」を施行した。

これは、まちの美化について、たばこの吸殻や空き缶などのポイ捨て、犬のふんの放置、美観を損なう屋外広告物の表示の防止、空地の適正管理について定めている。重点地域内でのポイ捨てや犬のふんを放置した人に対しては、必要な措置を命じることができるほか、過料を科すことができる。

今後、同条例の下、「ポイ捨てなどをしない人づくり・しにくい地域づくり」をテーマに、市、市民、事業者、団体等が一体となって、美しいま

ちづくりを進める。(7月1日)

■池田市は、「池田・いいところ見て歩き講座」を開催した。

これは、受講者に池田の歴史や文化をより詳しく理解してもらい、池田観光案内人として、池田の素晴らしさを多くの人に広めてもらおうと企画したもの。

第1回講座は、「入門！池田の歴史と文化」と題し、市立歴史民俗資料館館長らによる講演が行われ、15名が受講した。

この講座は12月まで毎月1回、ボランティアガイドなどによる講座が開かれ、4回以上参加した人には講座修了認定書を授与する。(7月14日)



泉北地域

■堺市では、「堺」ナンバーの来年度中の導入が決定された。

これは、平成16年11月に国土交通省において策定された「新たな地域名表示ナンバープレートの導入について」(要綱)に基づき、市、商工会議所、自治連合協議会などで構成する「堺ナンバー創設推進協議会」が、署名活動などを展開し、市が府を通じて国に要望していたもの。

来年4月の政令指定都市への移行を目指す同市にとっては、「堺」ナンバーの導入は、都市イメージや知名度の向上が図れるほか、観光振興など地域の活性化につながると期待している。

(7月30日)



泉南地域

■岸和田市は、P A連携(P=消防ポンプ車、A=救急車)を開始した。

これは、心肺機能停止傷病者が発生した場合に、管轄の救急車が出動中であつたり、交通事情など

により、救急隊の現場到着が遅れるようなとき、最寄りの消防署から救急資機材を積載した消防車を出動させ、救急隊が到着するまでの間、消防隊による応急手当を行うもの。

現段階では試験運用だが、活動の効果などを検証し、救命率の向上を図るため、増加する救急車の出動要請に対応できるよう、本格的な運用を開始する予定。
(8月1日)

南河内地域

■松原市は、介護予防の取組として、健康リレー寄席と太極拳教室を開始した。

健康リレー寄席は、市民から募集した「素人芸人」やボランティアの大学生が、市内の老人センターを訪れて漫才や寄席を披露するもので、笑うことにより、脳の活性化や血糖値を下げる効果を期待できるという。

また、太極拳教室は、体の柔軟性を高めることや心肺機能の向上を目的に、週1回、60歳以上の市民を対象に実施する。

今後、市内のさまざまな特技を持つ人の力を生かして介護予防を実践し、介護保険の財政負担軽減につなげていく。
(8月6日)

中河内地域

■柏原市は、コンプライアンスセンター「安全・安心相談室」を開設した。

これは、行政への不当な要求に対応するほか、市民から市職員の応対に関する相談などを受け付けることなどにより公務員倫理の維持を図るとともに、市民からの身近な違法行為に関する相談(深夜のバイク騒音や未払い給与など)にも応じるもの。

同センターは、市役所1階の入口正面カウンターに設置され、警察官OBと市職員OBを相談員

として配置している。

市民が気軽に相談のできる窓口として活用することにより、市民の安全・安心の向上を図っていく。
(7月8日)

北河内地域

■寝屋川市は、寝屋川市立学校園危機管理マニュアル(改訂版)「校門で守るみんなの命」を作成した。

これは、学校園に不審者を侵入させないように、校門の集中管理を徹底して行い、安全な学校園づくりを進めるため策定されたもの。

この危機管理マニュアルをもとに、各学校園におけるマニュアルを改定するとともに、防犯訓練や施設・設備の安全点検などを行い、安全な学校園づくりをめざす。
(8月1日)

■交野市は、第1回「天の川七夕まつり」を開催した。

これは、「交野市星のまち観光会議」が主催するもので、市民の手によって作られた1,000本の竹灯籠が、同市を流れる天野川沿いに500mにわたって並べられ、総勢約7,500人が集まった。

同会議は「住んで良し、訪れて良し」をコンセプトに、交野の美しい自然や、歴史、文化などを紹介しながら交野の観光の顔づくりをめざす市民や事業者による団体。将来は交野市の観光協会に発展することを目指している。
(7月7日)



国の動き

- 文部科学省は、公・私立幼稚園施設の耐震化状況（平成16年12月1日現在）について調査結果を発表した。

それによると、公立幼稚園の耐震化率は45.5%、私立幼稚園の耐震化率は54.6%であり、公立幼稚園の耐震化率が低いのは、柱や壁の強化を義務付けた新耐震設計基準が適用された昭和56年以前の建物が多いためであると分析している。

（7月22日）

- 総務省は、住民基本台帳に基づく全国の人口（平成17年3月31日現在）を発表した。

それによると、総人口は1億2686万9397人で、昨年より4万5231人（0.04%）増加したが、対前年増加数及び増加率は、昭和43年の調査開始以来最低であった。また、性別で見ると、男性が1万680人減の6207万6658人、女性が5万5911人増の6479万2739人となっており、男性が調査開始以来初めて減少した。

（7月27日）

- 総務省は、平成16年度における独立行政法人（108法人）の役職員の給与等について調査結果を発表した。

それによると、国家公務員を100とした場合の独立行政法人のラスパイレス指数は、事務・技術職で107.1、研究職員で103.2、医師で113.2と、平成15年度とほぼ横ばいで、依然として国家公務員より高い給与水準となっている。

（7月29日）